

令和4年6月6日
市民部 文化振興課
ダイヤル 0742-34-4942

～子どもからプロまで、皆さんが利用できるピアノへ～
反田恭平氏からピアノを寄贈いただきました

令和4年5月31日、反田恭平氏よりアップライトピアノをなら100年会館中ホールの楽屋に寄贈いただきました。このピアノは、寄贈された反田様のご意思により、中ホールの「楽屋1」利用者には自由に弾いていただくことができます。

なお、市民の方々には、今後見学いただいたり少し触れていただいたりできる試弾会の機会を設けてまいりたいと考えております。



右から) 反田恭平氏と
仲川げん奈良市長

- 1 寄贈日 令和4年5月31日
- 2 寄贈者 反田 恭平氏
- 3 寄贈品 アップライトピアノ (K-400)
929,500円 (税抜 845,000円)
- 4 寄贈場所 なら100年会館中ホール楽屋1
(奈良市三条宮前町7番1号)



反田氏からのコメント

●なら 100 年会館へピアノを寄贈された理由について

楽屋にピアノがなかったので、アーティストがコンサート開演間近までウォーミングアップができればよいなと思い、寄贈させていただきました。

●このピアノを選んだ理由

アップライトピアノの中でも、より良いグレードのものを選びました。

本番直前に使用することが多い楽屋でのピアノになりますので、ストレスフリーで練習ができるということが一番です。

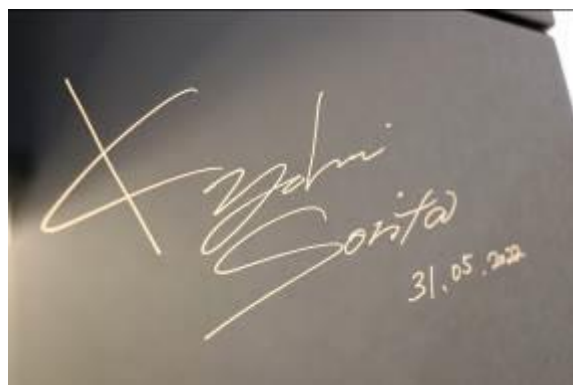
このピアノはとても温かい音がしますし、何よりグランドピアノにより近いタッチということもあります。

●このピアノの利用について

なら 100 年会館の中ホールは素晴らしいホールです。

本番を迎える前のパートナーとしてこの楽屋のピアノを利用いただければ幸いです。

そして、このホールを利用される子どもからプロの大人までのいろんな方がこのピアノを弾かれることで、このピアノの音も変わっていくと思いますので 10 年、20 年と経ってどんなピアノになっていくのかもとても楽しみです。



左) ピアノ側面にいただいた反田さんのサイン



右) サインと反田恭平氏

【コメント動画を後日配信します】

寄贈にあたり、反田さんから動画でコメントをいただきました。途中、演奏もされています。

※後日、市公式 youtube ページで配信いたします。

Japan National Orchestraと 魅力発信 パートナー 宣言を交わしました



3月4日、市内に本拠地を持つジャパン・ナショナル・オーケストラ（JNO）とともに、
なら100年会館で「魅力発信パートナー」宣言式を行いました。

今後、市では、心のふるさと応援寄附制度を活用し、JNOの活動を支援していきます。

また、市とJNOが互いに支援・協力し、市内での文化芸術活動の機会を広げ、理解を深めることで、
「地域の成長と人材の育成」の好循環を目指します。



ジャパン・ナショナル・オーケストラとは…

第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位を受賞した反田恭平さんと、DMG森精機の川島昭彦さんの2人が代表取締役を務めるオーケストラ。2021年5月、市内に本社を設立。所属メンバーは18人。主に奈良と東京でのメンバー個人のリサイタルや、全国ツアーを行う。奈良を中心に親しまれ、愛されるオーケストラを目標に活動し、2030年には奈良で本格的な音楽が勉強できるアカデミー（音楽院）の創設を目指す。



ふるさと納税（心のふるさと応援寄附制度）で活動の支援ができます

寄附金の使い道を選べる市のふるさと納税に、「JNOへの支援」が追加になりました。寄附金の半分をJNOへの支援（活動補助金の交付）に、残りを市の関連事業に活用します。

※返礼品辞退の場合は、寄附金の8割をJNOの支援に、残りを市の関連事業に活用します。なお、市在住の人への返礼品の贈呈は、制度改正により取り止めています。所得税（住民税）の税額控除は適用されません。

【今後市内で予定するJNOの活動】

- ▶ 市内各所での特別コンサート
- ▶ 市内の学校へのアウトリーチ活動（芸術体験活動）
- ▶ 市の魅力発信やふるさと納税への協力

くわしくは市ホームページへ。

ふるさと納税の手順もこちらに掲載▶



市民へのメッセージと演奏の一部を視聴できます



反田さん、岡本さんからの市民のみなさんへの動画メッセージと、式典で披露された記念演奏の冒頭の一部を、上の二次元コードから視聴できます。

【演奏者】 反田恭平さん（ピアノ）
岡本誠司さん（ヴァイオリン）
水野優也さん（チェロ）

【曲 目】 ブラームス作曲「ピアノ三重奏曲 第1番」より

【問合せ】文化振興課 ☎ 0742-34-4942